

令和3年度事業報告

認定こども園木の実

1. 教育・保育の質の向上

①新任職員の育成

入社3年未満の職員8名が2グループに分かれ、それぞれの研究テーマにそって、実践、振り返り、調査、研修受講を重ね、3月9日にグループ発表を行った。対象職員だけでなく、経験のある職員にとっても保育の視野を広げる機会となる研究発表となった。チームワーク向上にもつながる機会にもなった。発表の様子や内容の動画を園内の枠を超えて法人内こども園に発信した。研究の成果や達成感を感じていった。

②地域・保護者への発信強化

年9回、園の様子をYouTubeで動画配信を行った。

2. 労働生産性の向上 ～保育業務の効率化～

保育業務ソフト”コードモン”を導入し、4月より運用していった。知識・技術の高い職員の活躍により順調に運用出来た。アプリを通して保護者に発信していくことで、お便りを印刷したり、鞆に入れたりすることに費やした業務、時間の軽減を図ることが出来た。

3. 人材確保への取り組み ～保育を楽しもう～

保育を語る時間を1日1回設けた。設けた時間以外でも保育を語るが増え、保育への意欲や職員間の関係性を高める取り組みとなった。

求人活動はコロナ禍で制限されることが多い中で、オンラインでの説明会を活用し、離職の少なさをアピールしていった。養成校のパンフレット作成に卒業生の職員が協力をしたり、講座の講師として参加しながら自園アピールをするとともに、就職を考える方々との接点を作り、人材確保につながる関係の構築に努めていった。

4. 安心できる環境づくり

保育中に骨折し手術をする大きな事故を起こしてしまった。安心して過ごせる環境であることの一番重要な原点に立ち戻り、保育の在り方をひとつひとつを再確認し、安全な保育に必要な知識技術の習得、職員の共通認識を図る園内研修、専門の方を招いての研修を実施していった。体制及び保育の見直しや変更、安全に必要な備品を購入し再発防止に努めていく。マニュアル改訂も含め次年度も最重要課題として継続して取り組んでいく。